

東北大学 大学院理学研究科地球物理学専攻 特任研究員(任期付)公募

東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻では、文部科学省からの受託研究「気候変動予測先端研究プログラム」のうち「日本域における気候変動予測の高度化」を実施するために、下記の要領で特任研究員を募集します。

1. **公募人員**：特任研究員 1 名（年俸制、任期付）
2. **専門分野**：該当研究を推進するために、既存および新たに作成される気候データセットの分析を行い、豪雨・豪雪などの地域・流域スケールにおける各種極端現象のメカニズム解明にあたりるとともに、関連する研究を担当します。
3. **着任時期**：2023 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
4. **任期**：2024 年 3 月 31 日まで（プロジェクトの進捗状況と勤務実績等により、2027 年 3 月 31 日まで 1 年度ごとの更新をする可能性があります）。
5. **待遇**：年俸制。東北大学の規定による。裁量労働制、文部科学省共済。
6. **応募資格**：博士の学位を有するか同等の能力を有し、上記専門分野の研究に熱意がある方。
7. **応募締切**：2023 年 2 月 15 日 適任者が決まり次第、締め切ります。
8. **提出書類等**：
 - (1) 履歴書（本学所定様式 https://www.sci.tohoku.ac.jp/30_10_70_resume*.xlsx）
 - (2) 研究業績リスト(査読付原著論文、著書、総説・解説に分けること。所属学会および学会活動、その他特筆すべき業績)
 - (3) 主要論文別刷り 3 編以内（コピー可）
 - (4) これまでの研究の概要（1,000 字程度）
 - (5) 着任後の抱負（1,000 字程度）
 - (6) 応募者について意見を伺える 2 名の方の氏名と連絡先（電話、E-mail アドレス）
 - (7) 応募者の連絡先（住所、電話、E-mail アドレス）
9. **応募書類送付方法**：

E メールにて送付してください。提出書類を 1 つの pdf ファイルにまとめて添付してください。ただし、ファイルサイズが大きい場合は適宜分割してください（25MB 以上のメールは受け取ることができません）。件名は「流体地球物理学講座 特任研究員（先端プロ）応募」としてください。受付後は確認の返信をします。返信が届かない場合はお問い合わせください。

送付先：yamaz_AT_tohoku.ac.jp

提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。

10. 問い合わせ先：

地球物理学専攻 流体地球物理学講座

山崎 剛 TEL: 022-795-5781 e-mail: yamaz_AT_tohoku.ac.jp

11. 男女共同参画：

東北大学は共同参画を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎しています。本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

12. 参考：

講座や専攻の概要は

流体地球物理学講座 <https://wind.gp.tohoku.ac.jp/>

地球物理学専攻 <https://www.gp.tohoku.ac.jp/>

をご覧ください。当講座は陸面過程と数値モデルによるシミュレーションを柱として、気象学の研究をすすめており、領域再解析や気候変動適応に関わる将来予測に力を入れています。

東北大学 大学院理学研究科地球物理学専攻 特任研究員(任期付)公募

東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻では、科学技術振興機構からの受託研究「地域気象データと先端学術による戦略的社会共創拠点に関する国立大学法人東北大学による研究開発」を実施するために、下記の要領で特任研究員を募集します。

1. **公募人員**：特任研究員 1 名（年俸制、任期付）
2. **専門分野**：該当研究を推進するために、日本領域長期高解像度再解析データの整備および分析を行い、地域気候変動や過去のメソスケール極端現象の解析にあたり、関連する研究を担当します。
3. **着任時期**：2023 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
4. **任期**：2024 年 3 月 31 日まで（プロジェクトの進捗状況と勤務実績等により、2030 年 3 月 31 日まで 1 年度ごとの更新をする可能性があります）。
5. **待遇**：年俸制。東北大学の規定による。裁量労働制、文部科学省共済。
6. **応募資格**：博士の学位を有するか同等の能力を有し、上記専門分野の研究に熱意がある方。
7. **応募締切**：2023 年 2 月 15 日 適任者が決まり次第、締め切ります。
8. **提出書類等**：
 - (1) 履歴書（本学所定様式 https://www.sci.tohoku.ac.jp/30_10_70_resume*.xlsx）
 - (2) 研究業績リスト(査読付原著論文、著書、総説・解説に分けること。所属学会および学会活動、その他特筆すべき業績)
 - (3) 主要論文別刷り 3 編以内（コピー可）
 - (4) これまでの研究の概要（1,000 字程度）
 - (5) 着任後の抱負（1,000 字程度）
 - (6) 応募者について意見を伺える 2 名の方の氏名と連絡先（電話、E-mail アドレス）
 - (7) 応募者の連絡先（住所、電話、E-mail アドレス）

9. 応募書類送付方法：

E メールにて送付してください。提出書類を 1 つの pdf ファイルにまとめて添付してください。ただし、ファイルサイズが大きい場合は適宜分割してください（25MB 以上のメールは受け取ることができません）。件名は「流体地球物理学講座 特任研究員（JST 共創）応募」としてください。受付後は確認の返信をします。返信が届かない場合はお問い合わせください。

送付先：yamaz_AT_tohoku.ac.jp

提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。

10. 問い合わせ先：

地球物理学専攻 流体地球物理学講座

山崎 剛 TEL: 022-795-5781 e-mail: yamaz_AT_tohoku.ac.jp

11. 男女共同参画：

東北大学は共同参画を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎しています。本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

12. 参考：

講座や専攻の概要は

流体地球物理学講座 <https://wind.gp.tohoku.ac.jp/>

地球物理学専攻 <https://www.gp.tohoku.ac.jp/>

をご覧ください。当講座は陸面過程と数値モデルによるシミュレーションを柱として、気象学の研究をすすめており、領域再解析や気候変動適応に関わる将来予測に力を入れています。